

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 543

事務事業名	大村家墓所保存整備事業	
-------	-------------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島恵利子	内線	375
担当者名	松川憲毅	内線	372

基本目標	010301	人を育むまち
政策		文化の振興と生涯学習の充実
施策		文化財の保護・活用・継承
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード		

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	国指定史跡 大村藩主大村家墓所		
意図 対象をどのような状態にしたいか	国史跡の指定範囲の中で最も重要な部分である墓所において、墓碑や灯ろう、柵等の傾きが発生しており、状況が進むと倒壊の恐れがある。保存整備を行い、貴重な文化財を後世に伝える。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	国史跡大村藩主大村家墓所の保存整備を行う。 墓石等の修復 説明板や案内標識の充実を図り、史跡の価値の周知や見学者の利便性の向上を図る。 対象面積=3,200㎡		
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 34 年度	実施方法	直営

成果指標名	劣化箇所改修率			算定式等 =改修終了箇所 / 改修必要箇所
着手前現状値	平成 17 年度	単位	%	
完了後計画値	平成 35 年度		0	

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	1,302					5,500	6,802
	項目別進捗率	19.14%	19.14%	19.14%	19.14%	19.14%	100.00%	
実施設計	実績・計画額						4,800	22,200
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	21.62%	
用地・補償	実績・計画額							
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額	1,438					13,500	63,000
	項目別進捗率	2.28%	2.28%	2.28%	2.28%	2.28%	23.71%	
事務費等	実績・計画額					500	400	4,300
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11.63%	20.93%	
合計	実績・計画額	2,740	0	0	0	6,000	18,700	96,302
	項目別進捗率	2.85%	2.85%	2.85%	2.85%	2.85%	28.49%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	0	0	6,000	12,500	0
国庫支出金						3,000		
県支出金						300	6,250	
地方債								
その他								
一般財源						2,700	6,250	
② 人件費(千円)	159	161	498	1,627	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.02	0.02	0.07	0.21	基本計画策定 指導委員会	実施設計 保存整備工 事委員会開催	基本計画 実施設計 保存整備工 事委員会開催	
時間外勤務(時間)		5	2	50				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	159	161	498	1,627				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	現在、平成18年度に保存管理計画の策定まで終了している。
事業が抱える問題・課題等	大型事業のため、予算面や人員面での他事業との調整が必要である。 事業開始に向け、関係者等との合意形成が必要。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市を代表する歴史遺産で、平成16年度に国史跡の指定を受けた。現状で墓石等の傷みが見られ、文化財としての価値を損なう恐れがあるため、これを防ぐために保存修理を行う必要がある。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	墓石、灯ろう、柵等の傷みが進行しているため、保存管理計画に基づきながら整備計画を立て、順次補修を行わなければならない。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村家墓所は国指定史跡であり、その整備は市内文化財の保存整備の中でも中心となる事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	今後、保存整備計画の詳細を立て、事業目的の範囲で可能なコスト削減を図る。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	その他の見直し	
--------	---------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	事業開始に向けて、墓所の現状を調査し、保存修理個所の再確認を行い、関係者等との合意形成を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	墓石等を倒壊させることなく保存し、後世に伝えることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。